

平成 28 年（2016 年）度 第 3 回理事会議事録

I. 日時：平成 28 年 9 月 15 日（木） 19：00～21：43

II. 場所：神奈川県作業療法士会事務所

III. 理事会定数

出席理事：錠内、澤口、佐藤、奥原、神保、吉本、遠藤、名古屋、野々垣、作田、内山、木村、村越
計 13 名

欠席理事：福留、野々垣

出席監事：清宮、田中

その他：沼田（制度対策部福祉用具関連事業班）

出口（広報部ニュース編集）、金山、池田、魚岸（事務局：書記）

IV. 議長団選任

議長：錠内会長

副議長：澤口副会長

議事録署名人：奥原理事、清宮監事

V. 配布資料

事務局／地域支援事業の進捗に関するアンケート／財務部／学部部／教育部／広報部／福利部／地域リハ部
／制度対策部／生活行為の不便さを助ける用具等にかかる情報提供体制の構築について／規約委員会／平成
28 年度神奈川県作業療法士会臨時社員総会議案書／ウェブサイト管理委員会／学会評議員会／MTDLP 推進委
員会／認知症事業対策委員会

VI. 回覧資料

1. かながわパラスポーツフェスタ 2016

VII. 報告・検討事項

1. 事務局（錠内会長）

（1）報告事項

1）渉外

① 県医師会よりご案内

元医師会副会長近藤正樹先生が旭日双光章を受賞される祝賀会

日時 7/28（木）18：30～

会場 横浜ベイシェラトン

→澤口副会長で対応

② 県社会福祉協議会より

多職種連携や、在宅生活を支える介護職などの寄稿の依頼（福祉タイムズ）

→錠内会長で対応

③ 神奈川県リハビリテーション協議会連携指針検討部会委員の推薦

→澤口副会長を推薦済み

④ 神奈川県県民局くらし県民部 NPO 協働推進課より活動状況調査へのご協力依頼

→福留で回答済み

- ⑤横浜市障害支援区分認定審査会委員推薦依頼に関して
別紙参照

2) 行政および職能団体関連

- ①神奈川県病院協会 第1回学術委員会 平成28年5月18日 出席者 福留
神奈川県病院学会 平成28年11月15日火曜日
第35回神奈川県病院学会 シンポジスト依頼の件 地域医療連携の推進パート5
→木村理事へ依頼
→運営委員は、林慎也・横山早紀（イムス横浜狩場脳神経外科病院）へ依頼済み
- ③昭和大学より文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」支援事業平成27年度昭和大学
事業報告書が届きました。報告書は事務局でご高覧ください。
- ④OT協会より「平成27年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助金事業」
事務局でご高覧ください。
- ⑤県病院協会より「H28年度会務および事業報告」
事務局でご高覧ください。

3) 後援名義使用依頼 承認済み

- ①平成28年度理学療法普及キャンペーンの後援依頼（医療職連合会として依頼あり）
公開講座 介護予防キャラバン 7月17日 療育セミナー 7月30日
スポーツ外傷 8月13日 理学療法見学会 8月1日～8月31日
- ②第35回神奈川県病院学会 後援依頼
開催日：平成28年11月15日 場所：神奈川県総合医療会館
→[KAOT-ML:04071]理事メールで承認済み
- ③日本医療マネジメント学会第16回神奈川支部学術集会への後援名義使用依頼
日時：平成29年3月4日 場所：ワークピア横浜
→[KAOT-ML:04104]理事メールで承認済み
- ④日本ピアスタッフ協会より「全国ピアスタッフの集い」への後援名義使用
日程 平成11月12・13日(土・日) 場所 神奈川県立保健福祉大学
→[KAOT-ML:04180]理事メールで承認済み
- ⑤神奈川県総合リハビリテーション事業団より「かなりは リハ工学 福祉機器フェスティバル2016」
への協賛名義使用
日程 平成28年12月3日(土) 場所：神奈川県総合リハビリテーションセンター
→[KAOT-ML:04197]理事メールで承認済み

4) 他団体より研修会等周知依頼

- ①第19回有床総合病院精神科フォーラム
- ②神奈川県立保健福祉大学「第13回ヒューマンサービス公開講座《秋季》いのちと保健福祉」
- ③神奈川県エイズ対策推進協議会第23回AIDS文化フォーラムin横浜における県主催プログラムについて
- ④国立障害者リハビリセンター 平成28年度作業療法士研修会の開催
- ⑤国立障害者リハビリセンターより頸髄損傷者利用者募集に関して

- ⑥第9回山梨県作業療法士学術大会
- ⑦緩和ケアの対象者へのリハビリテーション研修会（日本作業療法士協会）
- ⑧南区在宅療養支援ネットワーク会 第3回総会
- ⑨浮腫療法基本手技コース講習会

5) 庶務関連

①会費引落しに関して

- i 事務局：6月中に重要書類在中のスタンプを押した手紙を事務局から出していただく
入会希望者の納入漏れを防ぐため（財務、事務局、事務局員で相談、県士会サイトには掲載済み）
文面の中に引落しができなければ強制退会のおそれがある旨記載しておく
残高不足を解消したら事務局に連絡してもら旨も記載しておく
- ii 財務部：早急に県士会サイト「スライダー」「お知らせ」記事にて引落とし口座の残高確認の記事を
掲載依頼する
- iii 事務局：7月・8月に引落しを試みる・手紙は出さない
- iv 事務局：9月以降は、引落しを試みない
- v 三役：2月上旬に、「3月に引き落としが確認できなければ、4月で強制退会」電話の対応か手紙
- vi 事務局：3月に引落しを試みる。引落しできなければ4月1日で強制退会扱いとする

6) 協会関連

①日本作業療法士協会50周年記念式典・祝賀会について

澤口副会長と神保理事を出席予定
吉本理事と福留は会場係りとして参加。
別紙参照

②50周年事業に関して

協会より予算が振り込まれた。予算は、485,000円
ポストカードを作成中。11月のニュースで会員へ配布と研修会事業で配布。
ポストカードには、日本作業療法士協会、神奈川県作業療法士会のQRコードがある。目的は普及啓発。
ポストカード配布による効果判定も今後実施予定。
使用方法は、会員、患者、家族に使用してもらい、一般の県民・市民・他県方などに日本作業療法士協会の50周年と作業療法士の周知を行いう。
この事業は、日本作業療法士協会機関誌にて、「47都道府県の取り組み～協会設立50周年記念事業（仮）」という連載を企画予定。都道府県士会の皆様の取り組みを写真と文章にて5回ほどに分けて掲載していく予定。

(2) 審議事項

1) 再入会の件

35646	佐藤 由未	さがみリハビリテーション病院
56746	渡瀬 広之	横浜なみきリハビリテーション
38179	須藤 淳	横浜市立脳卒中・神経脊椎センター
51886	菅谷 康人	介護老人保健施設 ソレイユ・カーマ

→理事賛成多数で全員承認

2) 後援依頼の件

①湘南リハケア実行委員会より「湘南リハケア 2016」への後援依頼

日時：平成 28 年 11 月 27 日（日）10：00～18：00

場所：藤沢商工会議所 5 階・6 階

別紙参照

②神奈川県介護福祉士会より「第23回日本介護福祉士会関東甲信越ブロック研修会」後援名義使用以来

日時 11/12(土)

場所 ホテルメルパルク

別紙参照

③パラリンピックより「神奈川パラスポーツフェスタ 2016」への後援依頼

日時 10 月 2 日（日）、10 月 22 日（土）

別紙回覧資料参照

→理事賛成多数で①②③全て承認

3) 選挙管理委員会の推薦

池田公平（イムス横浜狩場脳神経外科病院）

大郷郁美（新戸塚病院）

山口悠里（特別養護老人ホーム 恒春の丘）

宮沢優（イムス横浜狩場脳神経外科病院）

横山早紀（イムス横浜狩場脳神経外科病院）

以上 5 名の推薦

→理事賛成多数で全員承認

4) 理事定数の改定と定款改定について（2016 年 11 月 2 日の臨時総会にて）

①理事定数の最大 18 名を最大 22 名に改定（会長・副会長含む）

理由：公益法人化に向けた事業拡大・修正や地域包括ケアシステムに向けた取り組み、現時点での部・委員会に対しての理事の必要人数などを考慮し、今後、診療報酬などの改定など国や自治体の取り組みに、早急な対応ができる体制の構築。

→意見 1：他の案はあるか。基本的に一人の理事が 1 つの部を担うのがよいのではないか。

→会長：理事が急にいなくなるケースもある。

→意見 2：当会よりも規模が大きい北海道は理事 20 名で運営している。

→会長：今後、部が増えることも見据えなければならない。

→意見 3：当会は理事が代議員を兼ねている場合が少なくなく、理事を増やせば代議員を兼務する理事も増える可能性がある。代議員の理事に対する監視機能が弱まるのではないか

→会長：特設委員会設置にあたり、支部をまとめる理事は必要になる。

→意見 4：理事が部の長を兼ねることを必須にしなくてもよいのではないか。

→意見 5：理事の増員は副会長を増やすためか？最大 4 人の根拠は？

→会長：副会長を増やし、現在担っている役割を振り分けたい。業務量は着実に増えている。

→意見 6：副会長を増やすなら、名目は対外活動のため。会長を補うというだけであれば微妙。

→意見 7：理事を増やす根拠が不明瞭。任期中に辞任となった 3 名分をまずは補充してから考えても遅くはない。現時点でまだ部は増えていないのだから、増えていない部のために先んじて

理事を増やす必要はない。

→会長：今回の提案は根拠が弱かった。11月の臨時総会でこの話題は出さず、引き続きの検討課題としていきたい。

②それに関する定款の部分の変更

→規約委員会より審議事項

→上記①の流れから、定款4章26条の役員について、ひとまず変更はしないこととする。

5) 臨時総会の開催の件

審議事項4)に伴い、来年度の役員選挙のために、臨時総会で定款改定が必要。

臨時総会の日程 11月2日水曜日 19:00 受付、19:30 開始 開港記念館

臨時総会費用の概算は

交通費 60名分	¥76,700		
会場費 (支払済)	¥3,960		
総会資料印刷費 100部	¥29,160		
資料郵送代	¥10,000	合計	¥119,820

6) 地域包括ケアシステム推進委員会 (仮) の特設委員会設置の件

事業計画及び予算は別紙参照

→理事賛成多数で承認

事務局 福留大輔

特設委員会設置について

地域包括ケアシステムの構築に向けて、各市町村では実現に向けた地域支援計画を検討中である。特に我々リハビリテーション関連の職能団体である OT、PT、ST に期待される施策は多いと思われる。そこで当士会としても今後、急速に動き出すであろう地域支援事業に、積極的そして迅速に対応できるよう、以下の特設委員会を設置したい。

*これまでの経緯

地域包括ケアシステム関連の対応はこれまでも地域リハを中心に対応してきた。しかしながら今後の行政の動向や他職種との同調した取り組みを勘案した時に、特設委員会として独立させた方がタイムリーな対応が可能と考え設立を提案する。

①名称 「地域包括ケアシステム推進委員会」

②予算 別紙

③分掌事項

1. 地域包括ケアシステムの推進に関すること

- ・地域支援に関する諸施策において、他職種、他団体との連携
- ・県民の健康に寄与する作業療法の有効性を実証できる施策の検討

④委員 理事会推薦

(案) 担当理事：木村修介 (委員長も兼任)

委員：別紙

2016 年度（平成 28 年度）事業計画（案）

地域包括ケアシステム推進委員会（仮）

委員 15 名

木村修介（担当理事）、遠藤陵晃、大郷和成（リーダー）、木下剛、渋谷拓郎、中村元樹、西川航平、吉田倫子、片岡直人、山岡洗、中井琢哉、山崎純一、野々垣睦美、佐藤隼、金山桂

1. 全体ミーティング 5 回（15 名の委員）

全委員で課題と目標の共有と委員会の進捗状況の確認を行う。

2. プログラム作成ミーティング 5 回（委員の中から 5 名程度）

モデル事業で実施する資料などの作成のための会議。

3. 市町村へのアンケート調査

各市町村の地域支援事業の進捗状況の確認のためのアンケート調査（実施済み）

4. 市町村への表敬訪問 9 回（アンケート結果を基にヒアリング）

アンケート調査から今後地域支援事業に取り組む市町村に対して来年度以降の地域支援事業への意向を確認する。

5. モデル事業の実施 6 ヶ月×2 回×5 名

1 市町村に対してモデル事業として作業療法士が提案する介護予防事業等を展開し、データを蓄積、結果を集約する。

6. H29 年度地域支援事業の公募に関する士会取り組みの検討

来年度以降、委託で事業展開する市町村もあり県士会として公募に対してどのように対応するのかを委員会案としてまとめる。

→すでに藤沢市から委託事業が公募できている。神奈川県士会としては、公募でなくストレートに県士会を利用してほしいという思いがある。その一方で、本件に対応できる作業療法士の数が少ないのも実情。今後研修会などを開いて、対応できる作業療法士を育成する必要あり。

→木村理事は当面 MTDLP と兼務

→本会の部員が他と重複している。今後、重複している部員の負担感を考慮する必要があるのではないかと。

地域包括ケアシステム推進委員会(案)

		費目計
福利厚生費	¥0	¥0
会議費	¥80,000	¥80,000
旅費交通費	¥203,500	¥203,500
消耗品費	¥21,600	¥21,600
印刷製本費	¥36,000	¥36,000
賃借料	¥0	¥0
渉外費	¥0	¥0
通信運搬費	¥24,000	¥24,000
諸謝金	¥0	¥0
負担金	¥0	¥0
消耗備品	¥70,000	¥70,000
備品	¥0	¥0
雑費	¥900	¥900
合計	¥436,000	¥436,000

活動内容

全体ミーティング 5回(15名の委員選出)

プログラム作成ミーティング 5回

市町村への表敬訪問 9

回

モデル事業の実施 6ヶ月×2回×5名

→予算は、神奈川県士会で購入する予定でプールしてあった金庫代を使用

2. 財務部（佐藤理事）

（1）報告事項

1) 財務部のブログ更新状況

3月3件・4月2件・5月4件・6月3件・7月2件・8月0件

2) 平成28年度中間監査

10月22日（土）14時@事務局

各部門中間監査・第2回臨床大会終了時監査・第16回県学会中間監査
必要書類を10月17日（月）事務局必着送付（詳細は理事 ML にて）

（2）審議事項（参考資料添付）

現状：前回理事会で報告した通り中期的にみて県士会財政状況は非常に厳しい

支出：今年度も既に厳しい見通し（新部門設立・臨時総会・事務局人件費）

収入：96%以上を会費・研修会参加費に依存

→会費完全納入化への対応（事務局専任と協働・現時点で予算を上回り黒字）

新コンテンツへの協力継続

参照：支出割合で多い「通信運搬費」「学会費用」

1) 交通費請求書（別紙添付）

承認いただければ翌日から利用できるように理事 ML にて書式配信

→現在のものも使用可能

→意見「請求書に合計欄も追加してほしい」

→理事賛成多数で承認

2) 通信費削減提案

・理事会公文書を理事 ML にて送信・必要時各自プリントアウト

理事数×6回×82円＝ $(17+\alpha) \times 192=9,840$ 円/年

・入会時の会員通知手続きの簡略化

→必要なときは事務局問い合わせで対応

→理事賛成多数で承認

3) 【学会評議委員会との共同提案】

学会・臨床大会助成金について下記方法・金額に変更する

学会・臨床大会を活動開始時にそれぞれ最低100万円・50万円助成し

事業計画・予算立案後に検討する場を設けて必要額を決定・助成

ただし助成金額総額の上限を2年で220万円・80万円とする

現行の学会関連助成金総額420万から提案300万の差額120万の半額60万

（30万/年）は将来の会場費補助として積み立てたい

	補助金額	返還金額		補助金額	返還金額
第12回	¥100万	→¥90万	第1回臨床大会	¥万	→
第14回	¥220万	→¥130万	第2回臨床大会	¥120万	→
第15回	¥300万	→¥102万			

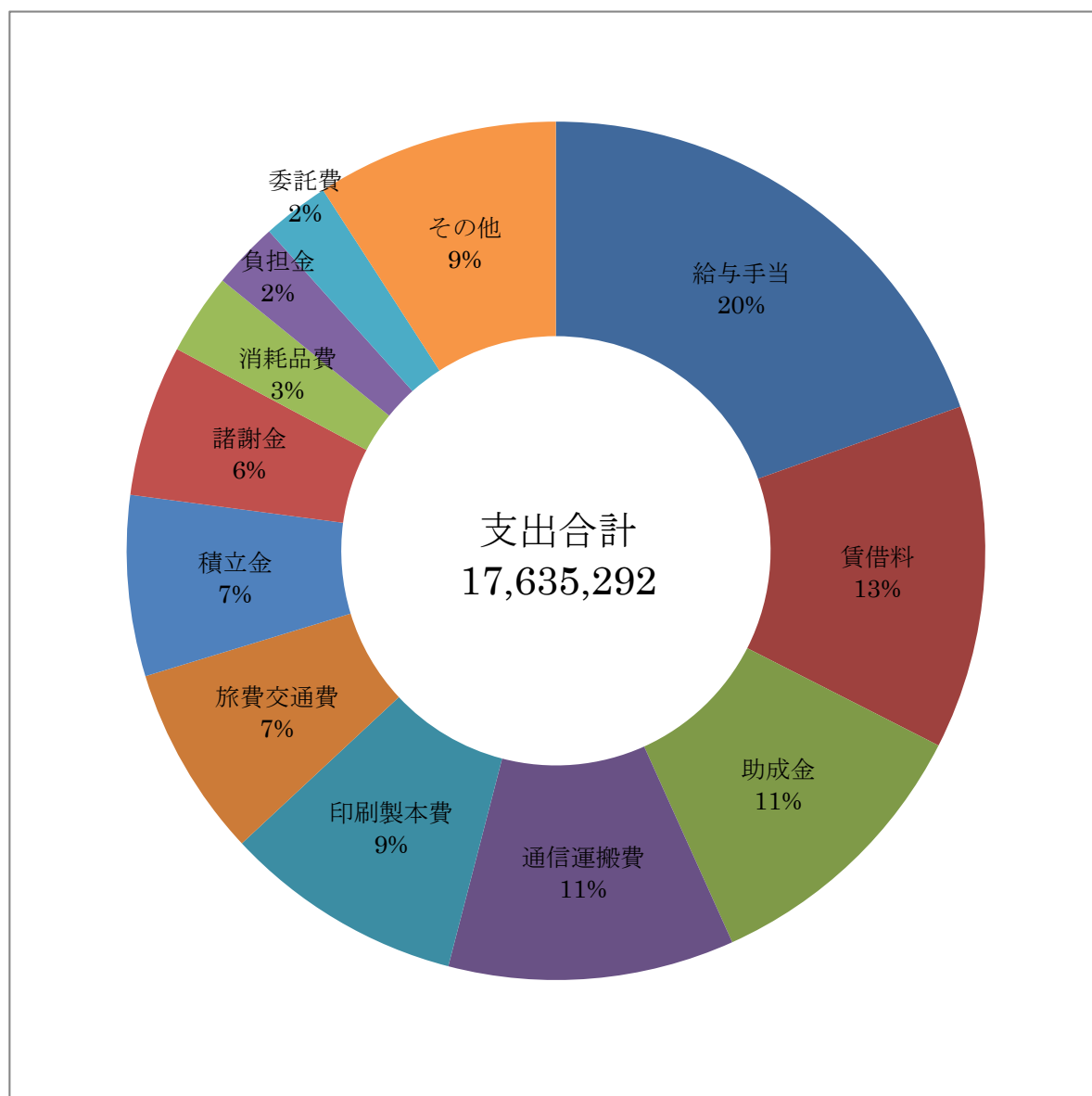
→意見

- ・ 現行の金額算出に際しての根拠が乏しい
- ・ 学生のボランティアには、弁当・ドリンクに合わせて交通費も出してほしい

→会長より

- ・ 他県士会の情報も集める必要あり
- ・ 次回の3役会に財務も加わり再考する

平成27年度 決算報告グラフ



	名 前	住 所	交通経路	交通費	押印
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

3. 学術部（錠内会長）

（1）報告事項

1) 研修会事業（スキルアップ研修事業）

①身体障害系企画

i 『高次脳機能障害の基礎と作業療法士の関わり方』

講師：早川 裕子先生 作業療法士（横浜市立脳卒中・神経脊椎センター）

開催日：平成28年8月28日（日）

会場：イムス横浜国際看護専門学校

参加数：72名

部員：6名

ii 『CIセラピーボトムアップ（徒手的）アプローチ講習会』

講師：田邊 浩文 先生 作業療法士（湘南医療大学）

開催日：平成28年10月30日（日）

会場：湘南医療大学

参加数：80名予定

②精神障害系企画

i 『今後の精神科作業療法の展開について』

講師：香山 明美 先生（みやぎ心ケアセンター）

開催日：平成28年12月18日（日）

会場：未定

参加数：未定

③老年期障害系1回

i 『認知症に対する作業療法（仮）』

講師：佐藤 良枝 先生 作業療法士（曾我病院）

開催日：平成29年2月11日（土）

会場：ウィリング横浜

参加数：50名予定

④トピクス研修1回

i 『初めて担当を持ちましたシリーズ ～1年目からの脳卒中の基礎と作業療法のポイント～』

講師：尾崎 聡 先生 医師（えびな脳神経外科病院）

酒井 由香里 先生 作業療法士（横浜新都市脳神経外科病院）

開催日：平成28年6月19日（日） 会場：横浜リハビリテーション専門学校

参加数：参加人数 89名

内訳 新入会員 51名

他士会員 12名

既存の会員 26名

部員：8名

2) 情報提供

①チラシの印刷代に関して

i 従来の研修会案内チラシ (ニュースに同封)

株式会社高陽印刷所

片面 用紙は色つき 文字はモノクロ 2000部 13,802円

ii 株式会社 ugo/ユーゴ (サイト名: Suprint/スプリント)

片面 フルカラー 2000部(発注から3日で納品) 4,875円

高陽印刷所への送料 1,304円 合計 6,179円

2500部 片面フルカラーの場合 6,060円 +高揚印刷所への送料

2500部 両面フルカラーの場合 8,390円 +高揚印刷所への送料

(2) 審議事項

1) 継続審議

①学術誌残部の活用方法

県士会主催の研修会、臨床大会、新人歓迎会などで配布の件

→理事会賛成多数で承認

2) データベースへの登録

メディカルオンライン、医学中央雑誌への公開について、経費はかからない

メディカルオンラインの場合は7000円+ (1論文54円×ダウンロード数) の収入

メディカルオンラインに登録している県士会は8件

(愛知県、石川県、大阪府、千葉県、東京都、長野県、北海道、宮城県) 理学療法士県士会は、より多数登録されている。

→理事賛成多数で承認

学術部 福留大輔

4. 広報部 (神保理事)

(1) 報告事項

1) 今後のニュース発行予定

号	発行月	掲載原稿 締め切り	封入チラシ 締め切り	主な記事
181	9月末	〆切済み	9月5日ころ	県学会演題募集
182	11月末	10月14日(予)	11月4日ころ	臨床作業療法大会報告
183	1月末	12月12日(予)	1月6日ころ	研修会報告など
184	3月末	2月13日(早め)	3月6日ころ	県学会詳細

・181号(9月発刊) スケジュールについて

8/25(木) 第1校完成予定。執筆者にはメール配信で校正ご確認致します。確認〆切8/31(水)

9/8 (木) 念校完成予定。最終チェック。 9/13 (火) 校了。9/26 (月) 発送予定。

- ・チラシについては 事務局 高橋さんより後日連絡あります (メーリングリスト)
- ・班内体制について

部員増員により来年度からニュースの責任編集を3チーム体制にすべく準備中。

2号ずつ各チームが記事執筆・依頼・編集を行う。

原稿回収メールアドレスなどを整備し、様々な連絡者が記事依頼などを行っても班内で集約できるようにする。

なるべく混乱の無いように移行をするよう努力する。

今年度も新部員からご連絡差し上げることもあるのでご承知おき頂きたく存じます。

2) 対外広報班の活動

- ・活動報告

①7月25日26日 ヨコハマヒューマンテクノランドブース出展 (2日間)

活動者 : 班員4名 (1日) 1名 (半日)

活動内容 : 作業活動体験 (和紙でしおりづくり)・作業療法紹介

配布物 : 県士会パンフレット 100部

OT協会パンフレット 60部 (一般用・学生用合計)

和紙のしおり 30セット (60個)

ペットボトルオープナー10個

卓上滑り止めシート 80個

エコバック 16個

他、訪問・呼吸等のA4サイズパンフレット

参加者の声 : ・ブース参加している大学生より

毎年このブースにきて楽しんでいる。作業療法は楽しく活動しながら対象者のからだや生活のことを考えている仕事だと知ることができた。

- ・精神科病院に在籍している看護師より

当院の作業療法士はあまり生活に着目してくれない。「ぬりえ」を対象者としているが、退院支援にむけた生活評価や病棟生活については看護師へ情報提供を指示するだけで自ら着手しようとしなない。そういうものなのですか？

②8月7日 臨床大会にて県士会広報ブース (1日間)

活動者 : 班員3名 (1日)

活動内容 : 作業療法紹介 (主に市民公開講座参加の一般市民・ブースに訪れたOT・学生)

配布物 : 県士会パンフレット 39部

協会パンフレット (一般用) 59部

(学生用) 76部

ペットボトルオープナー16個 (一般市民のみ)

卓上滑り止めシート 11個 (一般市民のみ)

呼吸パンフレット 47部 (一般市民のみ)

エコバック 20個 (一般市民のみ)

次回県学会パンフレット 多数配布

- ・活動予定

10月 中区区民祭り ブース出展

11月 介護フェア ブース出展

(2) 提案・審議事項】

1) 作品が掲載された対象者の方へのニュースお渡しの手間と料金について提案

お渡しするニュースには予備分で対応しており、特に今のところ問題はない状況ですが、お渡しには郵送にせざるを得ないため手間とお金が発生しております。

現在までに2回ニュースをお渡ししており、郵送費(年間 82円×6回=492円)が発生する予定です。

提案として、事務局に以下の作業をお願い致します。

①この郵送費を事務局でもっていただけないか？

②郵送の業務にご協力いただけないか？

→個人情報の部分は広報部が責任を持って行う。本件に際してはすでに承認済

2) チラシ印刷について提案

現在ニュース印刷の高陽印刷でチラシ印刷も依頼しています。

高陽印刷所さんに依頼するよりも、ネット印刷会社の方が格安との情報を班長が入手しました。

チラシをネットで外注に出すとカラーで2000部の場合を比較すると・・・

高陽印刷 : 片面 1色 2000部で 14000円 一枚7円位

ラクスル : 片面 カラー 2000部で約4900円、ネット印刷会社から高陽印刷所への郵送約1300円

トータルでも6200円

県土会として予算削減のためチラシ印刷の業者選択を当部の判断で変更する方向でよいか。また、煩雑作業となりかねないが、チラシは各部署が独自に印刷することも可能となる。

※9/1(水)の印刷所との打合せで同額が可能なのかは、確認する予定。

→高陽印刷も4000円でできるとのこと。詳細を確認して、今後の県土会ニュースでどの業者を利用するか再考していく。トライアルについては、各部に一任。

3) 部員承認をお願いいたします。

有田健吾(横浜新都市脳神経外科病院) 対外広報会計

→理事賛成多数で承認

5. 福利部(吉本理事)

(1) 報告事項

1) 求人・求職の登録および情報提供 (2016年5月30日～9月3日)

新規掲載依頼 : のべ64件(うち有料6件) 変更依頼 : のべ2件

削除依頼 : のべ13件

2) 会員交流班

①スポットライト～OTの生き方

『NPO法人 laule' a (遊びリパーク リノア)』 大郷和成氏
障害を持つ子どもたちのための放課後等デイサービスの立ち上げについて
県士会ニュース7月号180号、WEBサイトへ記事の掲載

3) 職場見学・体験班

日時：2016年9月22日(木) 13:00～15:00
場所：『NPO法人 laule' a (遊びリパーク リノア)』藤沢市辻堂西海岸2-10-3-1
講師：大郷和成氏
テーマ：障害を持つ子どもたちのための放課後等デイサービスの起業と作業療法の可能性

4) 表彰班

①受賞報告

日本作業療法士協会 特別表彰受賞 (2016.5.28 社員総会にて授与式)
渡邊慎一 先生(社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団 横浜市総合リハビリテーションセンター)
(県士会ニュース、WEBサイトにて公表、報告済み)

5) 表彰事業

- ①神奈川県保健事務所長・知事賞：該当者なしで回答 (* 推薦期間1週間のため準備困難)
- ②神奈川県保健衛生表彰：3年ごとの推薦のためなし
- ③第3回昭和上條医療賞：該当者なし
- ④厚生労働大臣表彰：10年ごとの推薦のためなし
- ⑤神奈川県作業療法士会表彰：検討中
- ⑥日本作業療法士会 特別表彰：検討中 (* 審議事項あり)

6) 新入会員オリエンテーション&歓迎会班

①新入会員オリエンテーション&歓迎会の開催

日時：2016年6月19日(日) 12:20～13:45(学術部研修会後)
場所：横浜リハビリテーション専門学校 地下1階
参加者：新入会員(1年目)52名 正会員(2年目以上)19名 計71名
理事・役員10名 学術部・福利部部員など16名 総計97名
県士会の紹介と理事役員との交流をテーマに開催。県士会紹介パンフレットの配布、臨床作業療法大会の広報などを行い、過去最大の参加者数で盛況に終了。
WEBサイトの県士会あらかるとに報告掲載。
また広報部からも、県士会ニュース9月号181号に開催報告を掲載予定。

7) 新入会員増加推進

①新規入会会員への入会済み案内チラシ

作成数の200枚が終了したため内容を一部更新。事務局で印刷して配布へ方法を変更

(2) 審議事項

2017年度 日本作業療法士協会特別表彰 推薦者の検討・審議

*別紙参照 該当者の略歴、日本作業療法士協会特別表彰規定

→理事賛成多数で承認

鶴見隆彦先生 ご略歴

【履歴】

1957年高知県に生まれる。1980年国立療養所東京病院附属リハビリテーション学院卒業。
卒後、川崎市リハビリテーション医療センター勤務。
1987年 バンクーバー精神衛生機構(GVMHS)にて研修。
2003年 群馬大学大学院医学系研究科修士課程修了。
2004年 法務省 横浜保護観察所 社会復帰調整官。
2012年 厚生労働省 社会・援護局総務課補佐官。
2013年 法務省保護局総務課 精神保健観察企画官室法務専門官。
2015年 湘南医療大学(横浜市)保健医療学部リハビリテーション学科の専任教授(保健学修士)。

【功績】

横浜法務省初代社会復帰調整官として、医療観察法の検討に関与するなど、司法精神医療の先駆けとして尽力。
法務省保護局総務課精神保健観察企画官室法務専門官としても活躍された。

【神奈川県作業療法士会 正会員・役員歴】

(会員歴)

1980年入会。2011年～2015年9月まで他県士会所属。2015年10月再入会。

(役員歴)

1981～1982	学術部 理事
1983～1984	学術部 理事
1985～1986	福利厚生 理事
2003～2004	副会長
2005～2006	副会長

【OT 協会役員歴】

都道府県作業療法士会理事・・・1981/4/1～1987/3/31
都道府県作業療法士会常務理事・・・2001/6/21～2009/6/22
教育部生涯教育運営委員会委員・・・2001/6/21～2003/6/21
事業部部員・・・2009/6/19～2011/6/19

【論文・著書など】

鶴見隆彦：性行為・性生活への支援とその意義。作業療法ジャーナル 38:910-91, 2004
鶴見隆彦：司法領域の動きと作業療法-触法障害者への作業療法。作業療法 28:128-133, 2009
鶴見隆彦：司法領域における作業療法のこれまで、そしてこれから。作業療法ジャーナル 44:1126-1132, 2010
鶴見隆彦：「リスク」と「安全・安心」を支援者はどう考えるべきか。精神科臨床サービス 11:313-318, 2011
鶴見隆彦：「ひきこもり」とその支援と課題。作業療法ジャーナル 147:894-899, 2013

鶴見隆彦：. 触法障害者への支援と現状. 作業療法ジャーナル 48:1090-1092, 2014

香山明美・小林正義・鶴見隆彦（編著）：生活を支援する 精神障害作業療法 急性期から地域実践まで（第 2 版）. 医歯薬出版, 東京, 2014

鶴見隆彦, 井坂真規（監訳）：司法精神科作業療法. 三輪書店, 東京, 2011

6. 地域リハ部（遠藤理事）

(1) 報告事項

1) 研修会について

①研修会企画

i 第 6 回多職種精神保健福祉セミナー

開催日：10 月 1 日土曜日

会場：ウィリング横浜

ii 第 2 回地域リハビリテーション人材育成研修会

開催日：10 月 30 日日曜日

会場：横浜リハビリテーション専門学校

iii 認知症対策員会の主催勉強会

11 月 5 日の研修会に地域リハ部数名研修会運営についてフォローに入る予定。

2) 神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会の報告

①研修会報告

訪問リハビリ実務者研修会

開催日：平成 28 年 8 月 27 日、28 日（2 日間）

会場：横浜リハビリテーション専門学校

→100 名が参加した

②研修会企画

地域ネットワーク MT

開催日：11 月 20 日日曜日（PM 開催予定）

会場：川崎駅周辺

3) その他

①平成 28 年度 神奈川県介護予防従事者研修会

昨年と同様に 2 会場、計 600 名定員で実施。

神奈川県主催、理学療法士が受託。

作業療法士会は協力団体として関わり、遠藤の方が運営スタッフ派遣を受けている。

また、講師として金山桂 OT が派遣予定。

湘南会場：平成 28 年 11 月 3 日、5 日 会場：平塚プレジール

横浜会場：平成 29 年 1 月 28 日、29 日 会場：横浜新都市ホール

※9 月号の広報誌と一緒に研修会案内配布。

②協会主催地域ケア会議に資する人材研修会

平成 28 年 6 月 25 日、26 日に TKP 新橋内幸町ビジネスセンターで開催

遠藤、山崎 OT 参加。

内容としては、各県士会で地域ケア会議または地域ケアシステムについての勉強会の内容提示。
研修会の内容を今年度の地域リハ部主催の地域リハ人材育成研修会に入れ込んでいくことで調整している。

③横浜市地域リハビリテーション活動支援事業について

(2) 審議事項

新規部員

- ・山崎純一（株リーフスタイル）

→理事賛成多数で承認

→理事より意見

「地域リハ部と地域包括ケア推進委員会の今後の関係性について」

→木村理事より「ほぼ重なりあうことはない」

地域リハ部 遠藤 陵晃

7. 制度対策部（野本理事）

(1) 報告事項

1) 福祉用具対策班開催研修

明日から使える環境スキル第1回 6/4 開催済み 申し込み 10名 参加 9名

明日から使える環境スキル第2回 8/6 開催済み 申し込み 6名 参加 5名

明日から使える環境スキル第3回 9/4 開催予定 申し込み 4名（8/31時点）

※ 11/27 第4回、12/4 第5回

2) 福祉用具相談支援システム

・相談件数 6月～8月 0件

・登録件数 6月～8月 23件（←モデル事業の参加にあたりシステム登録が必要なため登録件数増となった）

3) HCR相談員派遣

今年度HCRに、6名派遣する。1日2名×3日間

交通費・昼食費はHCR事務局が負担。

4) OT協会制度対策部モデル事業（福祉用具班が対応）

OT協会制度対策部より「生活の工夫事例」の収集依頼あり。

8/20（土）13：30～15：00で事業説明会を実施。14名の参加あり。

9月末まで事例募集し10月より収集事例の分析予定。

→事例 200 件を目標としているが、現在 29 名の登録で事例数は 11 例に留まっている。
福岡県は 46 事例集まっている。目標件数を指しての登録をお願いしたい。

(2) 審議事項

1) 部員承認 2名

イムス横浜狩場脳神経外科病院 木村亮介 (福祉用具対策班)

横浜なみきりハビリテーション病院 豊永 このみ (災害対策班)

→理事賛成多数で全員承認

以上

制度対策部 野本

8. 規約委員会 (名古屋理事)

(1) 報告事項

①規約、内規関係

内規の取り消し

「生活行為向上マネジメント推進委員会内規 ver.3」

→前回三役会議に確認済

理由：1 部門内のみの活動内容の確認の為。

→理事より意見

上記の理由は取り消しの理由にはならない。取り消し理由として妥当なのは、「部内の約束事のため、内規にはあたらないから」であろう。

(2) 審議事項

①定款および規約の一部変更について

別紙のとおり変更し、臨時総会の議案とする

→意見 1：定款第 1 章 5 条 (4) の「販売」の表現だが、販売という表現はピンポイントすぎるのではないか？販売が主目的になってしまう印象。

→意見 2：文言の解釈は法律の専門家でなければ難しい。県士会の立ち位置を明確にするための文章を作成する必要がある。不明瞭ではいけない。

→会長：臨時総会までに再検討する

文責 名古屋

9. ウェブサイト管理委員会(作田理事)

(1) 報告事項

1) 県士会サイトの管理とアクセス件数 ※H28年8月31日現在

	更新件数				アクセス件数		
	総件数	講習会	求人情報	その他	全ページの 総プレビュ ー数	1日あたりの プレビュ ー数	カウンタ ー
H28/04	58	34	17	7	121484	4049.5	6378
05	51	24	17	10	133726	4313.7	6265
06	70	34	16	20	145348	4844.9	6721
07	54	23	23	8	138552	4469.4	6132
08	63	39	19	5	135966	4386.0	6160
09							
10							
11							
12							
H29/01							
02							
03							
合計	296	154	92	50	675076	平均 4412.3	31656
前年との比較	-108	-14	-27	-67	+89630	平均+585.8	+464

1) 新コンテンツ「県士会活動☆あらかると」について

目的：イベント活動（研修会・対外広報・その他）の開催予告 PR と活動報告の場とする

2016. 6. 13 頃 コンテンツの設置・投稿マニュアルの作成が終了

2016. 6. 26 1 本目の投稿（福利部）

2016. 9. 6 時点 計 6 本の記事が投稿された

①運用のコツ

他の記事にコンテンツ中の記事のリンクを貼る

i 記事単独では、アクセスは伸びず、記事作成による効果の促進はあまり期待できない

ii 研修会開催の PR であれば、先にコンテンツ記事を投稿しておき、その後に「講習会・研修会コンテンツ」へ開催情報の掲載を依頼する ⇒ 依頼する記事中にはコンテンツ記事への URL を「内容」や「備考」に入れておく

記事中に他の関連する記事へのリンクを入れておく

i 過去の開催報告など、他の関連する記事へのリンクを記事中に入れておくことで、さらなる情報の発信につながる

→講習会・研修会コンテンツのアクセスは月2万超

2) 各部・各委員会ページの更新状況

①項目の統一

「活動内容」・・・部署の目的・役割・業務内容など・・・必要に応じて書き換えてください

「活動計画（平成28年度）」・・・今年度の内容へ書き換えてください

「構成部員・委員」・・・必要に応じて書き換えてください

記入ひな型：氏名（所属） 例：作田浩行（昭和大学保健医療学部）

表にしなくてかまいません

「担当理事からの一言」・・・必要に応じて書き換えてください

掲載済み：財務部、福利部、ウェブサイト管理委員会、事務局、制度対策部、学術部

原稿受け取り済み：認知症対策委員会

10. 学会評議委員会（内山理事）

(1) 報告事項

第2回神奈川県臨床作業療法大会開催

日時：平成28年（2016年）8月7日（日）受付：9:15 開催：9:40～17:30

大会長：遠藤陵晃（クローバー・ホスピタル）

テーマ：作業療法士のしてん“視点・支点、始点”

参加人数：323名、実行委員：13名、当日運営スタッフ：OT24名、学生38名

収入（暫定）：2,116,118円、支出（暫定・最終の会議が終わっていないため）1,173,352円、
県士会への返金942,766円

尚、詳細は大会記録集（暫定版）を参照してください。

(2) 審議事項

1) 財務との共同提案について

→後日検討

2) 学会費および大会費について（次回の理事会にて審議させていただきます。）

11. MTDLP推進委員会（木村理事）

(1)

1) 研修会開催予定

【MTDLP研修】

②10月2日 横浜リハビリテーション専門学校

③2017年1月15日 横浜リハビリテーション専門学校

【事例作成】 ①8月5日 横浜リハビリテーション専門学校

②10月28日 横浜リハビリテーション専門学校

③2017年2月17日 横浜リハビリテーション専門学校

【事例発表】 ①9月4日 横浜 YMCA 学院専門学校

②12月4日 横浜 YMCA 学院専門学校

③2017年3月12日 横浜 YMCA 学院専門学校

2) 研修会報告

【MTDLP研修】7月3日 参加者51名 ¥4,500

【事例作成】8月5日 参加者30名 ¥1,000

【事例発表】9月4日 中止(2名しかいなかったため、12月4日に移動していただくようお願いした)

3) 加算要件など

①生活行為向上リハビリテーション加算の要件

OTの場合：生活行為向上マネジメント概論90min + 演習330min ⇒ 基礎研修修了
基礎研修修了後1年以内に事例投稿もしくは事例発表 ⇒ 実践者研修修了

②来年度(H28年度)以降、「生活行為向上マネジメント研修会」に統合

③熟練者 ⇒ 指導者 に名称変更(事例登録2ケース)

4) OT協会のグランドデザイン

H28年終了時まで達成する目標

基礎研修修了者 ⇒ 会員数の60%

実践者研修修了者 ⇒ 会員数の30%

指導者 ⇒ 会員数の5%

現在(2016年7月時点)の神奈川県士会の基礎研修修了者数 415名 21.9%(会員数1,892名)

旧実践者研修修了者数 43名 2.4%

5) 地域リハビリテーション活動支援事業(横浜市)について

18区で事業展開中。現在、元気づくりステーション、地域ケア会議、ケアマネ研修会講師などへの派遣で37回の申込みあり。

(2) 審議事項

なし

1.2. 認知症事業対策委員会(村越理事)

(1) 報告事項

1) 県士会研修会の開催

研修会名称：これからの認知症支援について～地域で作業療法士に求められること～

日程：11月5日(土)10時～12時(受付9時30分)

講師：汐田総合病院 宮澤由美 医師

会場：横浜 YMCA 学院専門学校 8階

対象：これから認知症を推進していく OT

会費：会員 1000 円 会員外 1500 円 学生の参加の可否：可 参加費無料

定員：40 名（多くて 50 名程度）

申し込み締め切り：平成 28 年 10 月 29 日（土）

当日研修会のスタッフ：地域リハ部からの応援：5 名依頼

チラシの作成（9 月末発行の県士会ニュースに）→業者に依頼

2) 認知症をにんちしよう会

認知症をにんちしよう会 小田原地区

日程：9 月 25 日（日）10 時～16 時

会場：小田原駅地下街 HaRuNe 小田原

対象：一般市民

ステージ：いきいき健康体操 20 分

神奈川県士会ブース：

オレンジの共通アイテム：クリアの腕章（オレンジの紙に団体面を記載して使用）

パンフレット：認知症と作業療法（日本作業療法士協会作成）52 部

作業療法（神奈川県作業療法士協会作成）100 部

認知症の作業療法の持つ意味の紹介：チラシ作成

ブース：折り紙（立体折り紙）、スペースあれば脳トレ的訓練道具、玩具等少し置く

興味関心チェックリスト→50 枚（日本作業療法士協会からダウンロード）

9 月 16 日（金）19 時～県士会事務所で準備 ステージ演目練習、チラシ印刷等

3) 神奈川県立図書館講演会

7 月 29 日（金）PM 九州保健福祉大学 小川 敬之 OTR 講演を聞く

「認知症の人にやさしい図書館」

図書司書 50 名程度、東京都士会 7 名、神奈川県士会 4 名参加

神奈川県作業療法士会のアピール、広報部パンフレット 70 部配布

今後の協力に関して交流した

4) その他

①認知症初期支援チームについて

宮崎県作業療法士会では、認知症初期支援チームをする人には、認知症ケア専門士との資格を有する必要がある。

菊地委員の施設では取り組む動きが出てきている

②認知症事業対策委員会 共通メール作成

③日本作業療法士協会 認知症 OT 推進委員会会議 11 月 19 日（土）～20 日（日）

村越 参加予定

以上

文責 魚岸・池田

次回の理事会開催日時
開催場所

平成 28 年 11 月 10 日（木）19 時より
一般社団法人神奈川県作業療法士会事務所
〒231-0011
神奈川県横浜市中区太田町 4-45 第一国際ビル 301
TEL/FAX 045-663-5997

議事録署名人

議長 錠内 広之 印

監事 清宮 良昭 印

理事 奥原 孝幸 印